

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人雲南広域福祉会

# 目 次

I. 総括	P 1
II. 法人運営	P 3
1. 理事会、評議員会	P 3
2. 監査	P 5
3. 評議員選任解任委員会	P 6
4. 政策運営会議	P 6
5. 所長会議	P 6
III. 各事業所の事業報告	P 6
1. 就労支援事業所しゃぼん玉工房	P 7
① 就労移行支援事業	
② 就労継続支援B型事業	
2. 生活介護事業所にじいろ	P 10
3. 共同生活援助事業所レインボーハイツ	P 12
4. 児童発達支援事業所さくら教室	P 15
5. 相談支援事業所そよかぜ館	P 17
6. 雲南障がい者就業・生活支援センターアーチ	P 20
7. 地域活動支援センターパレット	P 24
IV. 事業活動の運営に当たって	P 28
1. 利用者の人権尊重、苦情解決	P 28
2. 職員の研修、教育	P 28
3. 防災対策	P 32
4. 関係機関との連携、運営の公開	P 32
5. 地域の人材育成や地域啓発	P 32
6. 福祉団体への支援	P 33

# 平成30年度雲南広域福祉会事業報告書

## I. 総括

近年、少子高齢化が一層進行する中で、障がいのある方の増加、特に重度障がいの方が増える傾向にある。そうした中で「すべての人々がその人らしい生活ができるよう支援する」社会福祉法人の役割も重要になっている。

社会福祉法の改正から二年が経過し、各社会福祉法人にとっては、改革の実行性が問われると同時に組織・事業の再構築と定着、地域貢献への確かなステップが求められた一年間でもあった。

また、障害者総合支援法の一部改正法（平成28年5月成立）が、平成30年4月から完全施行され、就労定着支援事業や自立生活援助事業が新設されると同時に高齢化・重度化に重きを置いたサービス展開と多様なニーズに対するより柔軟で適切な対応が求められるようになった。

こうした中で、私たちは「障がい者（児）支援 第3次中期事業計画」（平成30年度～平成34年度）を策定し、地域のニーズに対応した事業運営と魅力的な職場づくりを目指すことを決意した。

第3次中期事業計画では、障害者総合支援法の一部改正法により創設された新サービスの中から、「就労定着支援事業」及び「自立生活援助事業」等を新たに実施していくこと、また、バリアフリーに対応したグループホームの開設や児童発達支援事業の推進について検討することなどを盛り込んだ。

しかしながら、今年度決算においては「平成30年度障害福祉サービス等報酬改定」の影響も含めて、法人の給付費収入が減少傾向にあり、一方では人件費や事務費の支出が増大しており、法人の経営は財政的に大きな困難に直面し、年々厳しくなっている。

更には、職員の退職に伴う人材の確保にも影響が生じており、第3次中期事業計画に沿った法人の経営戦略については、実績とその評価によって、検討を重ねつつ見直しを図っていく必要に迫られている。

私たちの法人が果たすべき役割はますます重要となっており、法人の現状と課題について役員と職員が情報を共有しながらしっかりと議論すること何よりも大切になってきている。

そのことを通じて、具体的な目標設定等や方向性を明らかにして、地域貢献を継続していける法人となること、すなわち「健全な法人運営」に全力を傾注していかなければならない。

以下各事業について報告する。

### 1. 障がい福祉サービス事業所の就労支援事業所しゃぼん玉工房では、以下のとおり取り組んだ。

① 就労移行支援事業では、利用者個々の適性に応じた職場実習や就労準備支援を行なった。また、就職した方が勤務する職場への訪問等により定着支援を行なった。

② 新規事業として「就労定着支援事業」を10月からサービス展開することとした。

事業内容は、就労移行支援事業等を利用し、一般就労に移行した障がい者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所や家族等との連絡調整等の支援を行なうものである。

結果的には平成30年度内には、就労した人が利用する必要がなかったことから利用実績はなかったが、平成31年度には利用する方が見込まれている。

③ 就労継続支援B型事業では、体力や職業能力に応じた作業に従事できるよう支援した。ま

た作業の拡充と工賃向上を目的に、他法人と連携して加工用トマトの栽培や、キャベツの栽培に取り組み市内の学校給食センター等に販売した。施設外作業では、雲南市水道局水源地の草刈り作業やバスセンター清掃作業等を受託した。

2. 障がい福祉サービス事業所の生活介護事業所にじいろでは、生産活動と余暇活動、健康管理に関して内容の充実を図った。生産活動では、1人当たりの月平均支給額を2,000円以上となるよう、作業種目を増加させた。昨年度の平均は1,700円を超え、一昨年の800円を大きく上回った。余暇活動では、外出の機会を増やし、季節感や賑わいを経験する機会を図った。健康管理では専門職に講師を依頼して、講義や実技を通して学ぶ機会を増やした。また、送迎ルートの拡充も行って、利用契約者の増加につながった。
3. 障がい福祉サービス事業所の共同生活援助事業所レインボーハイツでは、以下のとおり取り組んだ。
  - ① 四箇所のユニット毎に各利用者一人一人の状況に応じて、安心して共同生活が継続できるよう支援した。
  - ② 衣食住全般に渡る日常生活や金銭管理、健康管理や余暇支援、また就労している利用者の就労継続支援等に取り組んだ。
  - ③ グループホームから公営住宅への単身生活に移行する利用者への地域生活移行支援を行なった。
4. 児童福祉サービス事業所の児童発達支援事業所さくら教室では、以下のとおり取り組んだ。
  - ① 就学前の児童に対して児童発達支援事業、学齢期の児童・生徒に対して放課後等デイサービス事業を提供し、集団療育、個別療育に取り組んだ。
  - ② 保育所等訪問支援事業では、圏域内の保育所や幼稚園を訪問して児童、保護者や保育士等スタッフへの助言や相談に応じ、集団生活に適應できるよう支援した。
  - ③ 雲南市、奥出雲町、飯南町から受託して実施した障がい児通園事業では、今年度新たに飯南町、奥出雲町で定期的に療育支援を行った。島根県東部発達障害者支援センターの協力を得て、保護者が「子どもとの関わり方」を学習できるようペアレントトレーニングに取り組み家族支援を行った。また、相談機関につながる前の親子を対象に遊びの教室を開催し、親子の触れあい方を遊びを通じて伝えるよう支援した。
5. 相談支援事業所そよかぜ館では、以下のとおり取り組んだ。
  - ① 雲南市、奥出雲町、飯南町から市町村相談支援事業を受託して、障がいのある方や家族からの生活相談に応じた。
  - ② 指定相談支援事業所としてサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス事業者等との調整を行った。
  - ③ 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業を受託し、高次脳機能障がい者の地域生活の相談に応じた。
  - ④ 病院や施設での入院入所から退院・退所して地域生活に移行できるよう地域移行支援に取り組むとともに、単身で生活する障がい者等が地域での生活を継続できるよう地域定着支援

に取り組んだ。

6. 雲南障がい者就業・生活支援センターアーチでは以下のとおり取り組んだ。

- ① 障がい者に対する就労支援や職場定着支援、事業主に対する障がい者雇用や雇用管理への助言、働く仲間のグループ育成や交流会の開催、関係機関との就労支援ネットワーク構築等に取り組んだ。
- ② 就労学習会、就職ガイダンス、マナーアップ講座等、障がい者の就労意欲の向上、働く上で必要な知識やスキルを身につけるための研修会を開催した。
- ③ 「雲南地域はたらく応援プロジェクト」と称し、地域の障がい者就労支援関係機関が連携・協力し、就労系福祉サービス事業所利用者の就労支援を行う仕組みづくりに取り組んだ。

7. 地域活動支援センターパレットでは、以下のとおり取り組んだ。

- ① 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域活動支援センターI型事業を受託して、日常的に創作活動や軽作業による生産活動、障がい当事者の自主的活動の支援や広域的な交流活動等を行った。
- ② 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業や社会参加促進事業等を受託して、手話通訳者の設置、芸術・文化教室の開催や視覚障がい者の社会研修等に取り組んだ。

## II. 法人運営

### 1. 理事会、評議員会

雲南広域福祉会の現在の理事・評議員数は以下のとおりである。

- 1) 理事数 7名
- 2) 評議員数 9名
- 3) 監事数 3名

#### (1) 理事会の開催状況

回	会議名 開催年月日	出席者数	主な議案
1	第72回理事会 6月6日(水)	理事：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 理事長の職務執行状況報告及び平成29年度補正予算第6次・事業所運営規程等理事長専決処分の報告について</li><li>・ 平成29年度事業報告について</li><li>・ 平成29年度決算報告について</li><li>・ 平成30年度補正予算(第1次)について</li><li>・ 就業規則の一部改正について</li><li>・ 第55回評議員会の招集の決定について</li></ul>
2	第73回理事会 7月23日(月)	理事：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 就労定着支援事業の実施について</li><li>・ 組織管理規則の一部改正について</li><li>・ 経理規程の一部改正について</li><li>・ 平成30年度補正予算(第2次)について</li><li>・ 就労支援事業所しゃぼん玉工房運営規程の一部改正について</li><li>・ 経理規程細則の制定について</li><li>・ 第56回評議員会の招集の決定について</li></ul>

3	第74回理事会 10月24日(水)	理事：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長の職務執行状況及び上半期事業報告について</li> <li>・ 苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会の開催結果について</li> <li>・ 平成30年度補正予算(第3次)について</li> <li>・ 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について</li> <li>・ 財務担当理事設置要綱の一部改正について</li> <li>・ 経理規程の一部改正について</li> <li>・ 障がい者(児)支援第3次中期事業計画の策定について</li> <li>・ 第57回評議員会の招集の決定について</li> </ul>
4	第75回理事会 1月29日(火)	理事：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長の運営規程等専決処分について</li> <li>・ 平成30年度補正予算(第4次)について</li> <li>・ 給与規程の一部改正について</li> <li>・ 準職員就業細則の一部改正について</li> <li>・ 旅費支給規程の一部改正について</li> <li>・ 懲戒等審査会設置規程の制定について</li> <li>・ 懲戒等審査会理事会選出委員の選定について</li> <li>・ 第58回評議員会の招集の決定について</li> </ul>
5	第76回理事会 3月1日(火)	理事：6名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の辞職に伴う法人の対応について</li> </ul>
6	第77回理事会 3月20日(水)	理事：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事長の運営規程等専決処分の報告について</li> <li>・ 平成30年度補正予算(第5次)について</li> <li>・ 平成31年度事業計画について</li> <li>・ 平成31年度当初予算について</li> <li>・ 各事業所運営規程の一部改正について</li> <li>・ 障がい者支援事業所統括所長の任用について</li> <li>・ 理事の補充候補者の承認について</li> <li>・ 第59回評議員会の招集の決定について</li> </ul>

(2) 評議員会の開催状況

回	会議名 開催年月日	出席者数	主な議案
1	第55回評議員会 6月22日(金)	評議員：7名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度補正予算第6次理事長専決処分について</li> <li>・ 平成29年度事業報告について</li> <li>・ 平成29年度決算報告について</li> <li>・ 平成30年度補正予算(第1次)について</li> </ul>
2	第56回評議員会 7月31日(火)	評議員：7名 監事：2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就労定着支援事業の実施について</li> <li>・ 組織管理規則の一部改正について</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・経理規程の一部改正について</li> <li>・平成30年度補正予算（第2次）について</li> </ul>
3	第57回評議員会 11月1日（木）	評議員：6名 監事：2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者（児）支援第3次中期事業計画の報告について</li> <li>・上半期事業報告について</li> <li>・苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会の開催結果について</li> <li>・平成30年度補正予算（第3次）について</li> <li>・役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について</li> <li>・経理規程の一部改正について</li> </ul>
4	第58回評議員会 2月7日（金）	評議員：8名 監事：3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度補正予算（第4次）について</li> <li>・給与規程の一部改正について</li> <li>・準職員就業細則の一部改正について</li> <li>・旅費支給規程の一部改正について</li> <li>・懲戒等審査会設置規程の制定について</li> </ul>
5	第59回評議員会 3月28日（木）	評議員：5名 監事：2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度補正予算（第5次）について</li> <li>・平成31年度事業計画について</li> <li>・平成31年度当初予算について</li> <li>・理事の補充選任について</li> </ul>

## 2. 監査

### (1) 監査の状況

回	実施年月日	実施者	内 容
1	5月23日(水)	監事：3名 財務担当理 事：1名	平成29年度 実施事業 平成29年度 資金収支計算書 平成29年度 事業活動収支計算書 平成29年度 貸借対照表 平成29年度 財産目録

### (2) 内部経理監査の状況

回	実施年月日	実施者	点 検 項 目
1	7月27日、 30日 8月 7日 9日	財務担当理 事：1名	第1四半期分 ①経理規程の整備状況 ②会計組織の整備状況 ③通帳・印鑑の管理状況 ④支出事務の状況 ⑤収入事務の状況 ⑥寄附金の取扱状況

			⑦固定資産の管理状況 ⑧予算の管理状況 ⑨契約の取扱状況 ⑩財務諸表の開示 ⑪諸帳簿等の作成状況 計算書類、会計帳簿（主要簿、補助簿）、証憑書類関係（見積書、請求書、振込書、領収書、決議書等）
2	11月26日、 29日、 30日 12月3日	財務担当理 事：1名	第2四半期分 (点検項目は第1回と同じ)
3	2月12日、 14日、 15日 19日	財務担当理 事：1名	第3四半期分 (点検項目は第1回と同じ)

### 3. 評議員選任解任委員会

平成30年度は開催する必要がなかった。

### 4. 政策運営会議

事業規模が拡大・多様化してきている当法人の業務の中で、重要な事項の執行等事業運営の円滑化を図るため、理事長と理事長の指名する理事による政策運営会議を開催した。

開催日 5月31日（木）、10月9日（火）、平成31年1月18日（金）、2月12日（月）  
2月25日（月）

### 5. 所長会議

これまでの月1回の開催から回数を増やし月2回所長会議を開催し、各事業所の成果や課題を共有しあい、法人全体で事業間の連携を取りながら各事業の特性を活かして業務に当たった。

## Ⅲ. 各事業所の事業報告

### 1. 就労支援事業所しゃぼん玉工房

① 就労移行支援事業

② 就労継続支援B型事業

### 2. 生活介護事業所にじいろ

### 3. 共同生活援助事業所レインボーハイツ

### 4. 児童発達支援事業所さくら教室

### 5. 相談支援事業所そよかせ館

### 6. 雲南障がい者就業・生活支援センターアーチ

### 7. 地域活動支援センターパレット



## I. 事業別実施状況

## 1. 就労移行支援事業

一般就労を希望される方に対し、個別支援計画に基づき、事業所内での作業、企業内実習等を実施し、就労前準備支援を実施した。就労前準備の整った方に対しては、個々の適性に沿った職場探しを行った。また、就職後は、職場訪問や面談等により、職場定着支援を行った。

## (1) 職場実習・企業開拓・職場定着支援の実施

- ①就職先 3社（製造業） ②職場見学の実施 8社  
③職場実習（雇用前実習含む）

	件数	日数	実習先の業務内容
就労移行支援	10	65	製造業、小売業 合計8社

## ④職場定着支援

年度	就職者	定着状況（H30年度末時点(人)）	定着率(%)
28	4	4	100
29	2	1	50
30	3	3	100

## (2) しごと実践プログラムの実施

しごと実践プログラムを実施し、就労移行支援事業独自で実習に取り組むことができ、就労継続支援B型で実施する体験型実習と差別化を図ることができた。また、プログラムの中から雇用につながったケースもあった。上記プログラムと連動して、就労勉強会を実施した。ナビゲーションブックの利用により自己理解を促進することができた。また、会社見学のポイントや電話連絡の仕方、実習計画書の作成等を通して、従来の実習よりも利用者が主体的に実習に取り組むことができ就職に向けてより実践的な実習を実施することができた。

## (3) 就労アセスメントの実施

2名実施した。2名とも養護学校以外の一般相談からつながったケースであり、養護学校以外の就労アセスメントの流れについても整理をすることができた。

## 2. 就労継続支援B型事業

一般就労をしていたが、年齢や体力等の理由で離職した方、一般就労を目指したが必要な体力や職業能力の不足により就職に結びつかなかった方等に対し、個別支援計画に基づき、事業所内外において生産活動の機会を提供した。また、一般就労を希望する方には、就労に向けた支援を行った。

## (1) 活動内容

- ・クリーニング作業は中元クリーニングからの受託量が増加したため、前年度に比べ増収となった。
- ・野菜加工作業では現在受託している商品の売上減少に伴い、受託量が減少したため、前年度に比べ減収となった。
- ・製品加工作業では作業室内の道具置場、配置等を整理することにより、作業効率があがりより多くの製品を仕上げることができ増収となった。
- ・野菜出荷作業は、にんじんの収穫量が増え、それに伴い給食センターへの出荷量も増加したため増収となった。
- ・就労支援事業収入が支出を上回ったため、平成31年度下期分の精算工賃を令和元年6月に支給する。年間の工賃時給額は361円になり、昨年度と比較し46円増額した。

- ・雲南障がい者就業・生活支援センターアーチと連携し、就労希望者に対して職場実習を行い、就労支援を行った。
- ・雲南障がい者就労支援事業所協議会へ参画し、雲南病院カフェの運営について協議した。
- ・月 1 回「利用者ミーティング」を行い、作業や行事のあり方、対人関係について等、身近なテーマについて利用者同士で話し合った。

(2) 就労支援事業収入

15,173,632円 (対前年度比 111%)

内訳) 作業別収入

作業	収入	前年度比
クリーニング	5,861,319円	115%
野菜加工(ホウ草、セリ)	2,063,138円	84%
製品加工(カバヤシ、河内等)	2,252,835円	129%
施設外(トイレ清掃、除草等)	2,067,137円	104%
野菜出荷(農作業)	2,929,203円	122%

(3) 利用者工賃

時給 361円 (前年度 315円) ※就労継続B型事業の実績

工賃支払総額 9,649,275円 (前年度比 100%)

(4) 就労支援

- ①就職先 1社 (小売業)                      ②職場見学の実施 9社  
③職場実習

	件数	日数	実習先の業務内容
就労継続B型	10	36日	製造業、小売業、サービス業 合計9社

II. 学習活動・行事・交流活動の実施状況

- ・利用者家族に対し、平成 29 年度事業報告、平成 30 年度事業計画の説明を行った。
- ・当事者交流会、スポーツ大会等に参加し、利用者間の交流を深めた。また、ふれあいまつり、もちつき交流会では、地域住民との交流や啓発活動を行った。
- ・宿泊社会研修を実施し、京都府福知山市・社会福祉法人ふくちやま福祉会（就労継続支援B型事業所あまづキッチン）を視察し、他地域での工賃向上の取り組みを学んだ。
- ・就労学習会へ参加し、利用者に学習の機会を提供した。

実施月	就労移行支援 就労継続支援B型	参加人数
4月	お花見	27名
7月	利用者家族説明会	1名
	雲南地域スポーツ大会 ふれあいまつり	24名 6名
9月	障がい者スポーツ大会	25名
10月	宿泊社会研修	21名
11月	雲南地域当事者交流会	24名
12月	もちつき交流会	25名
2月	就労学習会	24名
3月	雲南障がい者ニュースポーツ大会	23名

### Ⅲ. 支援実施状況

#### (1) 利用者の状況

利用者定員 30名 (就労移行支援事業6名、就労継続支援B型事業24名)

利用契約者 39名 (就労移行支援事業10名、就労継続支援B型事業29名)

#### ①契約者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就労移行	5	5	6	6	5	6	6	5	4	4	3	3
継続B型	29	29	29	28	28	26	26	25	25	24	24	24
合計	34	34	35	34	33	32	32	30	29	28	27	27

#### ②平均利用者数・利用率 ※( )カッコ内前年度比

	就労移行	就労継続B型
一日平均利用者	3.91人 (0.02人)	21.91人 (▲1.35人)
年間利用率	65% (0%)	91% (▲6%)

#### ③障がい種別

	精神	知的	発達	身体	合計
就労移行支援	3	7	0	0	10
就労継続B型	10	16	2	1	29
合計	13	23	2	1	39

#### ④サービス別・年代別

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	平均(歳)
就労移行支援	1	5	3	1	0	0	28.0
就労継続B型	3	10	4	6	2	4	37.7
合計	4	15	7	7	2	4	32.9

#### ⑤契約者の地域別状況

	雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	合計
就労移行支援	9	1	0	0	10
就労継続B型	27	1	1	0	29
合計	36	2	1	0	39

#### ⑥新規契約者の利用経路

相談支援事業所そよかぜ館	0
他法人の相談支援事業所	3
雲南障がい者就業・生活支援センターアーチ	0
特別支援学校	0
合計	3

#### ⑦退所者

	就職	事業所内サービス変更	他福祉サービス	就労アセスメント	在宅	入院	合計
就労移行支援	3	0	0	2	2	0	7
就労継続B型	1	2	3		0	0	6
合計	4	2	3	2	2	0	13

I. 事業別実施状況

1. 生活介護事業

個別支援計画に基づき、創作活動や生産活動等の機会を提供し、身体機能や生活能力の維持・向上のために必要な支援を行った。

(1) 活動内容

- ・利用者の利用状況や要望、外出や行事等の日程など前年の状況を踏まえ、年度途中の6月に午前に生産活動、午後に個別活動や全体活動を行うスケジュールに変更した。
- ・午前の活動は、生産活動に取り組み、主に紙器製品組立やしゃぼん玉工房からの野菜出荷調整作業等を行った。午後は、利用者全員で行う全体活動と、個々の希望に合わせた活動や小グループで取り組む内容の日を設けて実施した。
- ・工賃収入の増加を目指し、生産活動を中心に取り組むために、個別活動の時間にも希望する方へは生産活動の提供を行った。作業工賃も11月以降増加傾向にあり、平均工賃も増加となった。全体活動では、施設内の活動以外に外出活動の機会を増やし、季節を感じたり、賑わいを感じたりできるようにして、活動を通じて生活の幅を広げるとともに、日々の暮らしに楽しみや充実感を得られるように活動内容を工夫した。
- ・週間予定表について

	月	火	水	木	金
午 前	生産活動	生産活動	生産活動	生産活動	生産活動
午 後	全体活動	個別活動	個別活動	全体活動	個別活動

- ・作業収入について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018	11,892	11,978	14,318	9,991	10,481	12,464	15,556	23,373	12,456	11,667	10,762	25,431
2019	14,368	17,547	15,848	14,246	21,917	14,176	27,751	36,886	35,769	29,452	39,384	55,833

※2018年合計：¥170,369 2019年合計：¥323,177 (前年比189%)

※2019年間平均工賃額(契約18人の1名当たり)：¥1,795 (前年比(¥887)：202%)

- ・生産活動の転機としては、10月から企業としゃぼん玉工房の2件受託作業を増やしたことで契約者数が増え、作業従事する利用者が増えたため、作業収入の増加となった。

(2) 活動の実施状況

- ・あちこちコンサート、もちつき交流会等、地域住民等との交流や啓発活動に取り組んだ。また、雲南地域当事者交流会、雲南地域スポーツ大会等に参加し、利用者間の交流を図った。
- ・個別またはグループで作成した作品を障がい者アート作品展に出展し、県立美術館へ出向き鑑賞した。また、講師を招きアート教室や陶芸教室を実施した。
- ・花見や紅葉狩り、リンゴ狩り等の四季を感じられる活動を取り入れた。
- ・月一回「利用者ミーティング」を行い、休日の過ごし方や睡眠について等、健康管理の在り方等、利用者同士で話し合った。また、利用者と職員で行事や生産活動の取り組み内容等について話し合った。
- ・利用者家族に対し、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画の説明を行った。

実施月	内 容	参加人数
4月	お花見	13名
6月	利用者家族説明会	3名
7月	雲南地域スポーツ大会	9名
9月	アート教室	11名
	あちこちコンサート	9名
	雲南障がい者スポーツ大会	12名
11月	社会研修	13名
	雲南地域当事者交流会	12名
12月	障がい者アート作品展観覧	12名
	もちつき交流会	9名
1月	初詣・新年会	12名
3月	雲南障がい者ニュースポーツ大会	9名
	陶芸教室	14名

### (3) 健康管理支援

医療機関との連携や、看護職員による健康チェック等、利用者の健康管理を行った。また、専門職に講義を依頼し、集団指導として口腔ケア・栄養指導・運動指導を計4回実施した。運動指導では、身体能力測定を行った。測定結果から必要な運動メニューの指示を受け、日々の活動の中で筋トレを取り組んできた。

## II. 支援実施状況

### 1 利用者の状況

○利用者定員 20名 : 利用契約者 19名 (新規契約: 3名 解約: 1名)

#### ①契約者数 単位: 名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	16	16	16	16	16	16	16	17	19	18	18

#### ②平均利用者数・利用率

一日平均利用者数 11.28人 (昨年度比 0.31増) : 年間利用率 56%

#### ③障がい種別

精神	知的	発達	身体	計
15	2	0	2	19

#### ④サービス別・年代別

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	平均(歳)
0	1	0	1	5	9	3	57.1

#### ⑤契約者の地域別状況

雲南市	奥出雲町	飯南町	その他	合計
15	3	1	0	19

#### ④新規契約者の利用経路

相談支援事業所そよかぜ館	2
他法人の相談支援事業所	1
合計	3

平成30年度 グループホームレインボーハイツ事業報告

1. ユニット別支援の特徴…利用者の状況に応じて住環境や援助の重点を考慮して運営した。

開始年度	ユニット名	定員	3月末 利用者数	ユニットの特徴
H14. 4月	レインボーハイツ	10名	10名	精神症状の揺らぎの大きい利用者の相談に細やかに対応し、安心して暮らしていただいた。
H20. 4月	いいしハイツ	5名	4名	男性同士が、共同生活のルールの中で話し合いながら楽しく暮らしていただいた。
H22. 4月	こじょうハイツ	6名	6名	男性で構成。安定した日中活動の継続に向け、日常生活や就労面での援助をしながら、楽しく暮らしていただいた。
H24. 4月	はるひハイツ	5名	3名	女性で構成。安定した日中活動の継続に向け、日常生活や就労面での援助をしながら、楽しく暮らしていただいた。
		26名	23名	※29年度終了時 25名

利用者の詳細については、資料1のとおり

2. 利用者への一体的援助、個別的援助、介護の実施

安心して、楽しく共同生活を送り、日中活動の場に継続して出かけられるよう休息の場を提供し、以下の援助や介護を行った。

(1) 個別支援計画により、個別ニーズに応じた援助や介護の実施

(2) 日常生活支援の実施

(衣、食、住環境、保清、身だしなみ、ホーム当番(炊飯、掃除等)活動が苦手な方への援助)

(3) 健康管理の実施

(基礎疾患等での定期通院の援助、受診同行、服薬管理援助、不調時の対応等、急性の傷病に対する受診援助、インフルエンザ・食中毒等感染性疾患での予防等)

	30年度	29年度
受診同行	実人数 24名、延 307件	実人数 19名、延 213件
薬の預かり	6名	9名

(4) 金銭管理の実施

(自己管理の援助及び必要者には金銭等の預かり、社会福祉協議会による日常生活自立支援事業での利用支援)

	30年度	29年度
日常生活自立支援事業の利用援助	実人数 6名	実人数 7名
金銭等の預かり	実人数 4名	実人数 11名

(5) 一般就労者への就労定着支援の実施 (関係機関等への連絡調整等)

	30年度	29年度
関係機関等への連絡調整	実人数 14名、延 180件	実人数 7名、延 133件

(6) 利用者間の人間関係調整での個別相談、グループワークの実施

(利用者との職員合同の話し合いや利用者のみ話し合い)

利用者ミーティング	レインボーハイツ	7回	利用者のみで0回
	いいしハイツ	5回	利用者のみで0回
	こじょうハイツ	1回	利用者のみで11回
	はるひハイツ	8回	利用者のみで0回

(7) ホームでの共同活動の実施 (買い物デー、掃除の日等)

買い物デー	延 361回
個別の買い物支援	延 151回 ※29年度 285回

(8) 生活の中での楽しみ、文化・スポーツ活動、社会参加・地域交流の実施

(ホーム内での行事、交流、当事者会活動への参加、地域イベントへの参加、個人的な趣味や楽しみ、友人との外出等)

季節行事、全ユニット合同交流会（軽スポーツ、クリスマスコンサート）	2回
還暦祝い	2名
施設まつり	1回

(9) 近隣地域との交流、地域の理解（地域イベントへの参加等）

(10) 運営の公開と合意形成（施設見学の受入れ、たより広報、支援会議への参加等）

(11) 苦情解決（苦情解決第三者委員会及び身体拘束・虐待防止委員会への参加）

(12) 非常災害対策・緊急時対応（火災予防、避難訓練、夜間防災体制、緊急時連絡体制）

総合訓練	2回
部分訓練	4回

	30年度	29年度
夜間緊急対応	実人数3名、延5件	実人数9名、延25件

3. 利用者家族への研修・交流機会の提供

利用者の自立した生活支援に関して、家族の理解や家族との連携を図った。

(1) 家族向け研修会への参加案内（主催者：地域活動支援センターパレット、相談支援事業所そよかぜ館）

6月10日(日)「こころのフォーラム2018」 テーマ「人は人を浴びて人になる」

講師 静岡県焼津市 やきつべの径診療所・児童精神科医師 夏苺 郁子氏

(2) 家族説明会、個別相談会の開催

7月1日(日) しゃぼん玉工房と合同説明会を実施

(3) 随時個別面接、電話連絡、支援会議の開催

4. 関係機関との連携

個別支援計画の作成や実施にあたっては、相談支援機関や他の福祉サービス事業者、医療機関等関係機関との連携を図った。

5. 体験利用の受入れ

不安なくグループホーム利用を開始できるよう、事前に体験利用を受入れた。

	30年度	29年度
体験利用	実人数1名、計8回、計26日間	実人数5名、計11回、計66日間

平成30年度グループホーム利用者の状況

資料1

①利用者数

単位：名(%)

ユニット名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
レインボーハイツ	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	118(98.3%)
いいしハイツ	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	58(96.7%)
こじょうハイツ	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72(100%)
はるひハイツ	5	5	5	5	5	5	5	4	3	3	3	3	51(85.0%)
計	25	25	26	26	26	26	26	25	24	24	23	23	299(95.8%)
特記：入院者	1	2	4	5	4	3	2	1	1	1	0	2	26(実5)
体験利用者	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3(実1)

②障害支援区分

単位：名

非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0	1	9	12	1	0	0

③男女別・年代別

単位：名(%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
男	0	1	3	2	4	6	1	17(74%)
女	0	1	0	0	3	2	0	6(26%)
計	0	2(8%)	3(16%)	2(12%)	7(28%)	8(32%)	1(4%)	23

④利用期間別

単位：名

1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年	15年以上
5	12	6	0

⑤日中の活動先

単位：名

一般企業	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業	生活介護事業
7	1	6(1名生活介護)	9

⑥障がい種別

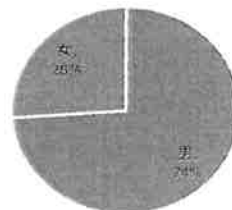
単位：名(%)

精神障がい 16(70%)	内 身体障がい重複(3)、知的障がい重複(1)、高次脳機能障がい重複(1)
知的障がい 7(30%)	内 精神障がい重複(2)
身体障がい 0	

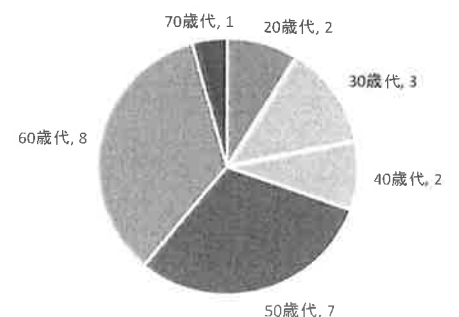
⑦新規利用者数と利用前住居 単位：名

新規利用者数	利用前住居
2	自宅：2

男女比



年代別比



⑧退所者数と退所先 単位：名

退所者数	退所先
4	市営住宅：1 自宅：2 病院(入院継続)：1



平成30年度 児童発達支援事業所さくら教室 事業報告

(児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・障がい児通園(デイサービス)・日中一時支援・療育等支援事業)

- (1) 児童福祉法に基づき、障がいのある児童に療育を行い、将来より豊かな生活を送れるよう基礎的な身体機能、身辺自立、社会性の発達支援を行なった。また、集団生活に適應できるよう保育所等への訪問支援を行なった。
- (2) 日中に一時的見守り等が必要な障がいのある児童に活動の場を提供し、見守り、社会に適應するための療育を行なった。
- (3) 障がい児通園(デイサービス)事業を受託し、早期の療育活動、社会学習活動などを行った。
- (4) 家族が児童の状況を理解・受容し、共に明るく生きていけるよう関係機関と連携し、相談、助言やセルフヘルプ育成等の支援を行なった。
- (5) 県療育等支援施設事業を受託し、訪問、外来、施設指導の方法により地域で療育的支援が必要な児童、保護者の為の支援を行った。

2. 契約、利用状況 (単位：人)

(1) 利用状況 (在住町村・年代別)

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中～	計
雲南市	1	5	2	7	5	20	3	3	4	4	2	1	1	19
奥平町			1			1								
飯南町		1		4	1	6								
計	1	6	3	11	6	27	3	3	4	4	2	1	1	19

(2) 月別利用状況 (利用児延人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未就学児	86	104	108	123	118	83	124	117	113	102	120	130	1,328
就学児	47	14	29	59	99	14	20	27	41	20	24	43	437
計	133	118	137	182	217	97	144	144	154	122	144	173	1,765

(3) 利用人数推移 (利用児延人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未就学児	H28	83	67	91	92	84	96	105	100	101	87	101	127	1,134
	H29	62	58	65	75	108	72	69	80	88	66	87	108	938
	H30	86	104	108	123	118	83	124	117	113	102	120	130	1,328
就学児	H28	72	30	38	66	148	33	36	38	30	39	34	53	617
	H29	57	30	47	63	121	28	29	27	47	29	23	45	546
	H30	47	14	29	59	99	14	20	27	41	20	24	43	437

3. 日中一時支援の契約、利用状況 (単位：人)

(1) 利用状況 (在住町村・年代別)

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中～	計
雲南市		2			2	4	2	1	1		1	1		6
奥平町														
飯南町														
計		2			2	4	2	1	1		1	1		6

(2) 月別利用状況 (利用児延人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用児人数	20	22	29	21	16	12	23	28	23	21	30	29	274

#### 4. 障がい児通園（デイサービス）事業 子ども発達支援事業

- ・「あそびのきょうしつ」 12回
- ・ミニさくら飯南、ミニさくら奥出雲 各10回
- ・療育勉強会 飯南町1回 奥出雲町2回
- ・ペアレントトレーニング 6回（9月～12月） フォローアップ研修 1回（2月）
- ・就学相談会 1回（5月）
- ・言語聴覚士（ST）による指導 10回 作業療法士による指導 4回
- ・保護者座談会、懇談会の開催 3回
- ・季節行事活動 4回（ミニ運動会、七夕会、りんご狩り、クリスマス会）

#### 5. 島根県療育等支援事業

事業名	実施延べ件数
訪問療育事業	138件
外来療育事業	26件
施設指導事業	23件
合計	187件

#### 6. 関係機関との協力、連携機関

- ・いしいクリニック 医師…保護者座談会 ST・OT…療育指導
- ・島根県東部発達障害者支援センターウイッシュ ペアレントトレーニング
- ・ペアレントメンター島根 ペアレントトレーニング
- ・教育委員会 子ども政策局 就学相談会 相談、情報交換、活動の周知
- ・保健師、福祉事務所 通園児紹介・相談・情報交換、あそびのきょうしつ  
発達クリニック、健診での協力体制  
ミニさくら奥出雲、飯南での協力

#### 7. 広報誌作成

活動内容周知を目的とし、「さくら通信」を発行（利用者、関係機関に配布）

#### 8. 会議、研修等参加

- ・さくら教室保護者会：つわぶきクリニック医師の座談会に合わせて実施
- ・飯南町特別支援相談ネットワーク会議
- ・聴覚障がい早期教育研修会
- ・島根県障害者自立支援協議会発達障がい者支援支部会及び島根県発達障がい者支援地域協議会
- ・小児発達支援体制における発達クリニックの役割検討会議
- ・島根県療育支援事業連絡協議会

#### 9. 見学、実習生の受入

雲南市、飯南町、奥出雲町、赤名保育所、大東小学校、島根大学、出雲養護学校、社会福祉法人つわぶき

#### 10. 非常災害対策・緊急時対応

避難訓練の実施

#### 11. まとめ

- ・今年度より障がい児通園（デイサービス）事業にて「ミニさくら」と称し月に1回程度、飯南町と奥出雲町それぞれで療育活動を行い、各町内の保健、教育と連携し支援を行った。そこでのつながりから県療育支援事業での支援を行うことも出来た。事業の良い所を活かし重層的に支援が出来た。
- ・療育勉強会として飯南町で1回、奥出雲町で2回、事業内容の周知と保育の中での工夫について話し合う機会を設けた。
- ・保護者の児童への関わり方に工夫が必要な児童が参加するあそびのきょうしつを今年度も障がい児通園（デイサービス）事業内で受託し、必要に応じ給付事業へつながる体制を確立するべく保健師との連携を強めた。
- ・県療育支援事業を引き続き受託し、給付サービスにつながっていない児童保護者の支援を昨年度より多く行った。

1. 委託相談支援事業

雲南市、奥出雲町、飯南町から市町村相談支援事業を受託し、障がいのある方や家族からの生活相談に応じた。

(1) 市町村別利用者数 (実数)

	雲南市	奥出雲町	飯南町	他市町	計
新規	19	1	2	1	23
継続	201	13	18	1	233
合計	220	14	20	2	256

(2) 障がい種別相談利用者数 ※重複障がいも含む ( ) 内は新規相談者数

	身体	知的	精神	発達	高次脳	重症心身	その他	計
実	44(3)	53(4)	80(5)	56(8)	21(4)	4(0)	10(1)	268(25)
	16.4%	19.8%	29.9%	20.9%	7.8%	1.5%	3.7%	
延	1,012	1,357	2,244	551	451	30	84	5,729
	17.7%	23.7%	39.2%	9.6%	7.9%	0.5%	1.5%	

(3) 相談形態別相談件数

訪問	634	11.4%
来所相談	574	10.3%
同行	290	5.2%
電話相談	1,569	28.2%
電子メール	14	0.3%
個別支援会議	363	6.5%
関係機関	2,102	37.7%
その他	27	0.5%
合計	5,573	

(4) 相談内容別件数

福祉サービスの利用	2,181	18.8%
障害や病状の理解	448	3.9%
健康・医療	2,174	18.7%
不安の解消・情緒安定	1,697	14.6%
保育・教育	261	2.2%
家族関係・人間関係	1,493	12.8%
家計・経済	987	8.5%
生活技術	1,401	12.0%
就労	415	3.6%
社会参加・余暇活動	132	1.1%
権利擁護	21	0.2%
住居	272	2.3%
地域生活移行支援	0	0.0%
その他	147	1.3%
合計	11,629	

(5) 新規利用者の相談経路

市町村	医療機関	福祉サービス事業所	基幹相談支援センター	相談支援事業所	就業・生活支援センター	特別支援学校	本人・家族	その他	合計
1	5	4	3	1	1	1	6	1	23

(6) 相談支援のまとめ

・新規相談においては、本人や家族、医療機関、基幹相談支援センターからの相談が多かった。本人や家族からの相談は、他の利用者や医療機関等から紹介されて相談につながったケースもあった。新規相談の特徴として、これまでサービス等を利用してこなかったが、両親の高齢化により親亡き後を心配され、相談につながるケースが続いた。また、雲南市では新規相談対応受付フローチャートができ、市や基幹相談支援センターで調整しながら、新規相談の対応をするようになった。

・相談内容としてはサービスや病状に関する相談が多かったが、家族や対人関係の相談も多かった。

## 2. 計画相談支援・障害児相談支援事業

指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所として、障がいのある方が希望する暮らしの実現に向けてサービス等利用計画を作成し、障がい福祉サービス事業者等との調整を行った。

新規の福祉サービス利用の相談もあったが、就職等によりサービスの終了になるケースや転居等により事業所を変更するケースが多かった。また障害児相談についても、就学や進級に伴いサービスが終了になるケースや事業所変更希望があり、終了するケースが多かった。終了したケースについても、家族支援等継続して関わりが必要なケースもあるため、委託相談での相談を継続している。

計画相談支援件数 契約者 118人（内新規11人）（平成31年3月末）

サービス利用支援（計画作成）	29	2.4件/月
継続サービス利用支援（モニタリング）	743	61.9件/月

障害児相談支援件数 契約者 49人（内新規5人）（平成31年3月末）

サービス利用支援（計画作成）	19	1.6件/月
継続サービス利用支援（モニタリング）	171	14.3件/月

## 3. 地域相談支援事業

指定一般相談支援事業所として、単身で生活する障がい者等に対して地域定着支援を行った。新規契約は2件あり、実家からアパートへの一人暮らしをした利用者や一人での生活に不安の多い利用者に対して、地域での支援体制を確保した。緊急時訪問支援としては、停電時の対応や不穩時の対応で時間外に相談があり、訪問対応や電話相談を行った。

地域移行支援	0人
地域定着支援 （緊急時支援）	実人員 11人 (5件)

## 4. 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業

島根県から高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点事業を受託し、利用者や家族への支援、関係機関との連携、研修会の開催等に取り組んだ。

### (1) 相談支援

#### ①新規相談者数

	実人員	(再掲) 新規者の相談経路						
		医療機関	障害者支援事業者	介護保険事業者	保健所	市町村	その他	なし
人員	5	3	2	0	0	0	0	0

#### ②相談延べ件数

	電話	来所 来院	訪問	メール 書簡	その他 (出張・同行等)	計
本人	10	6	28	0	4	48
家族	20	8	16	0	2	46
関係機関	46	3	18	0	0	67
計	76	17	62	0	6	161

## (2) 家族支援

### ①家族の集いの開催

回	日時	内容	参加者
1	6月23日(土)	茶話会	5人
2	9月29日(土)	パン作り	9人
3	12月8日(土)	ローズマリー見学会、昼食会	5人
4	3月23日(土)	三島ファーム見学、茶話会	10人

### ②県内で開催される研修会の案内

## (3) ネットワーク会議の開催

回	日程	場所	参加者
1	6月4日(水)	飯南町保健福祉センター	31人
2	10月3日(水)	奥出雲町役場仁多庁舎	23人
3	2月6日(水)	雲南市下熊谷交流センター	31人

## (4) 研修会の開催

### ①第1回圏域研修

- ・日程：平成30年9月14日(金)
- ・内容：「高次脳機能障がいの理解と障がい受容について」  
講師：社会医療法人千秋会 井野口病院 地域医療連携室 参与 隅原 聖子 氏  
座長：島根県支援コーディネーター 土江 啓悦 氏
- ・参加者：25人(飯南町内の障がい福祉・事業所、病院、行政機関等)

## 5. ピアサポーター活用事業

### (1) ピアサポーター活用状況

- ・ピアサポーター登録者数：4人(男性3人、女性1人)
- ・活用延べ人数：28人

### (2) 活動内容

- ・平成30年度も継続して毎月第3木曜日に、こなんホスピタルの療養病棟で行われている活動にピアサポーターがグループで参加し、訪問し交流を図った。入院患者と一緒に体操や軽スポーツ、ゲーム等の活動を行い交流した後に、ピアサポーターが個別に入院患者と話をしている。ピアサポーターが地域でどんなふうに住んでいるのかなどの様子等を伝えたりする中で、地域での生活を理解してもらうきっかけになっている。また、松江圏域のピアサポーターと一緒に活動し、活動の中でピア同士声を掛け合ったりすることで交流が出来ている。
- ・また、7月・8月に行われたフォローアップ研修に参加した。他圏域のピアサポーターと交流ができ、情報交換することができた。

## 6. 障害支援区分認定調査の受託実施

雲南市、奥出雲町から委託を受け、障害支援区分認定調査を行った。

認定調査	35件
------	-----

(雲南市31件、奥出雲町4件)

## I. 事業実施状況

### 1. 相談・支援

- (1) 障がい者や事業主からの個別相談
- (2) 職業準備訓練や職場実習の斡旋
- (3) 事業主に対する障がい者の就職後の雇用管理への助言、調整
- (4) 働く仲間のグループ育成と交流会の開催「ゆーとぴあ」
  - ①雇用安定等事業在職者交流会
    - i 平成 30 年 5 月 26 日（土）「グループワーク」10 名参加
    - ii 平成 30 年 7 月 7 日（土）「啓発活動準備会」8 名参加
    - iii 平成 31 年 1 月 27 日（日）「健康講座」7 名参加
    - iv 平成 31 年 3 月 16 日（土）「働くために必要なこと」10 名参加  
(平成 30 年 7 月 29 日（日）「啓発活動」：台風のため中止)

### ②島根県障がい者の仕事と生活の両立支援事業

- i 平成 30 年 5 月 26 日（土）「しじみストラップづくり」10 名参加
- ii 平成 30 年 7 月 7 日（土）「七夕の集い」8 名参加
- iii 平成 30 年 11 月 17 日（土）「バス旅行（アクアス、世界こども美術館）」15 名参加
- iv 平成 31 年 1 月 27 日（日）「ニュースポーツ大会」7 名参加
- v 平成 31 年 3 月 16 日（土）「カラオケ交流会」10 名参加  
(平成 30 年 9 月 30 日（日）「ボッチャ大会（他センターと合同）」：台風のため中止)

### 2. 関係機関との連携、ネットワークの構築

- (1) 連絡会議の開催（①平成 30 年 6 月 12 日 ②平成 31 年 2 月 27 日）
- (2) ネットワーク会議（就労支援専門部会）の開催（年 3 回開催）、「雲南地域はたらく応援プロジェクト」の検討・取り組み
- (3) 福祉サービス事業所とのケース検討会の実施（圏域内 7 事業所、利用者 44 名）
- (4) 研修会の開催
  - ①視察研修（平成 30 年 10 月 26 日）
    - ・視察先：アルファ食品株式会社（出雲市）、社会福祉法人壽光会（出雲市）、協栄金属工業株式会社（雲南市）
    - ・参加人数：16 名
  - ②マナーアップ講座（出前講座）
    - ・福祉サービス事業所利用者個々への講座 35 回
    - ・就労支援事業所しゃぼん玉工房就労勉強会との合同開催 2 回
  - ③就職ガイダンス（平成 30 年 12 月 19 日）
    - ・内容：ビジネスマナー講座、ハローワークの利用の仕方
    - ・参加人数：障がいのある求職者 12 名、関係職員 3 名、家族 1 名
  - ④就労学習会（平成 31 年 2 月 22 日）
    - ・内容：就職者の体験発表、講演「働くための元気な体と心を作ろう」
    - ・参加人数：93 名
- (5) ハローワーク雲南との情報交換会の開催：月 1 回
- (6) 東部発達障害者支援センターウィッシュとの情報交換会の開催：隔月 1 回
- (7) 雲南圏域障がい者総合支援協議会への参画
- (8) 県内センター連絡会議、センター長会議等への出席
- (9) 他機関主催の会議等への出席（労働局・県主催会議、特別支援学校進路相談会他）

### 3. 広報・啓発活動他

- (1) 企業への訪問、職場開拓
- (2) 障がい者雇用情報紙「レインボー」企画・取材
- (3) 地域啓発交流事業の開催
- (4) ホームページによる情報提供
- (5) 講師派遣（三刀屋中学校福祉学習、奥出雲町家族会）
- (6) 社会福祉士現場実習指導 他

## II. 相談・支援実施件数

### 1. 支援対象障がい者の状況（平成31年3月末時点）

#### (1) 登録状況 (人)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
在職中	23	65	38	7	133
求職中	7	16	26	7	56
その他	2	11	8	2	23
合計	32	92	72	16	212

#### (2) 登録者の居住地 (人)

雲南市	159
奥出雲町	31
飯南町	18
その他	4
合計	212

#### (3) 新規求職者の利用経路 (人)

ハローワーク	3
障害者職業センター	1
特別支援学校	2
就労移行支援事業所	3
その他福祉サービス事業所	2
福祉事務所、市町村役場等	1
直接利用	0
その他（相談支援事業所、企業等）	2
合計	14

#### <登録者の状況>

新規相談は精神障がい、発達障がいのある方が多くを占めた。就労を目指す以前の生活課題があるため、紹介元に再度支援を依頼したり、他機関を紹介するケース等、登録に至らないケースも多かった。

### 2. 障がい者に対する支援の実施状況

#### (1) 支援対象障がい者に対する相談・支援件数（手段別） (件)

センターへの来所（本人のほか、家族等も含む）	483
電話・Fax・e-mail（本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む）	1,190
職場訪問（定着支援のほか、職場実習支援を含む）	375
家庭・入所施設への訪問	74
その他（ハローワーク・障害者職業センター等への同行、受診同行、企業・施設見学同行、ケース会議への参加等）	231
合計	2,353

#### (2) 支援対象障がい者に対する相談・支援件数（内容別） (件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
就職に向けた相談・支援	10	346	413	136	905
職場定着に向けた相談・支援	32	327	401	214	974
日常生活、社会生活に関する相談・支援	12	182	92	18	304
就業と生活の両方にわたる相談・支援	15	44	92	19	170
合計	69	899	998	387	2,353

※その他内訳

(件)

	発達障がい	難病	高次脳機能障がい	その他	合計
就職に向けた相談・支援	36	90	0	10	136
職場定着に向けた相談・支援	16	195	0	3	214
日常生活、社会生活に関する相談・支援	4	3	0	11	18
就業と生活の両方にわたる相談・支援	4	11	0	4	19
合計	60	299	0	28	387

<相談・支援の状況>

発達障がいのある方等、自己理解へのかかわりや、働くイメージを持つための支援等、丁寧なかかわりが必要なケースも増え、時間を要した。

(3) 職場実習のあっせん件数

(件)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
0	38	18	1	57

<職場実習支援の状況>

圏域の関係機関と「雲南地域はたらく応援プロジェクト」に取り組み、就労系福祉サービスの利用者に対し、各機関が連携・協力し、利用者の職場体験実習に積極的に取り組んだ。

(4) 就職状況

①就職件数

(件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
一般 (30 時間以上)	1	4	4	0	9
短時間① (20 時間以上 30 時間未満)	0	1	2	0	3
短時間② (20 時間未満)	0	1	1	0	2
合計	1	6	7	0	14

※就労継続支援事業 A 型への就職

15 件

②就職先産業別件数

(件)

卸売業、小売業	1
運輸、郵便業	1
製造業	6
宿泊業、飲食サービス業	1
建設業	1
農業	4
合計	14

③職業別件数

(件)

運搬・清掃・包装等の職業	3
生産工程の職業	6
農林漁業の職業	4
建設、採掘の職業	1
合計	14

<就職支援の状況>

法定雇用率達成のために雇用を進めた企業もあったが、深刻な人手不足の中、障がいのある方も戦力として考え、雇用する企業も増えた。

(5) 職場定着支援の実施状況

①職場訪問による職場定着支援件数

164 件

②平成 29 年度中に就職した者(雇用契約等により 1 年以内に離職することが明白な者を除く)の、就職後 1 年経過時点の職場定着率



A. 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月までの就職件数（雇用契約等により 1 年以内に離職することが明白な者を除く） (件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
一般（30 時間以上）	1	3	4	0	8
短時間①（20 時間以上 30 時間未満）	0	1	6	0	7
短時間②（20 時間未満）	0	0	0	0	0
合計	1	4	10	0	15

B. A のうち就職後 1 年経過時点での在職者数 (人)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
合計	1	4	9	0	14

C. 1 年経過時点の定着率 (B/A)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
合計	100.0%	100.0%	90.0%	—	93.4%

<職場定着支援の状況>

1 名の離職者は、職場の経営不振により継続困難となったケースであった。求職者と職場とのマッチングを図り、就職後も継続的なフォローを行い、高い定着率を維持することができた。

3. 事業主に対する相談・支援の実施状況

(1) 相談・支援を行った事業所数 97 事業所

(2) 相談・支援件数 (手段別) (件)

①センターへの来所	9
②電話（FAX、e-mail 等を含む）	333
③企業訪問（職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む）	428
④その他（ケース会議等を通じた支援）	15
合計	785

(3) 相談・支援件数 (内容別) (件)

①雇入れに関する相談・支援	194
②雇用する障がい者の職場適応・職場定着に関する相談・支援	337
③雇用する障がい者の生活面に関する相談・支援	18
④障がい者の雇用支援制度に関する相談・支援	2
⑤その他（職場体験実習に関すること等）	234
合計	785

<事業主に対する相談・支援の状況>

人手不足や法定雇用率引き上げ等を背景に、障がい者雇用のニーズが高まり、雇用に関する相談が増えた。実習等の段階を踏み、マッチングを図り、企業に求職者の特性等を理解してもらうよう働きかけた。

4. 関係機関との連携等

(1) ケース会議の実施や他機関訪問等により、関係機関と連携を図った件数 (件)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
25	401	458	93	977

<関係機関との連携等>

生活支援機関、医療機関、教育機関、民生委員等、様々な関係者と連携を図りながら支援にあたった。

# 平成30年度 地域活動支援センターパレット 事業報告

(地域活動支援センターI型事業・機能強化事業、地域生活支援事業、手話通訳者設置事業)

## 1. 総括

- 1) 雲南市、奥出雲町、飯南町から委託を受け、地域活動支援センターI型事業を実施した。主に精神、知的、発達、高次脳機能に障がいのある方や引きこもり等により、社会参加ができていく方を対象に、憩いの場の提供、創作活動や生産活動等の機会の提供、自主活動支援(余暇活動)、地域交流活動の場を提供した。また、機能強化事業を受託し、専門職員を配置すると共に週末も開所し、平日は就労あるいは福祉サービス事業所等に通所している方の地域交流、活動の場を提供した。また、当事者団体の自主活動を支援した他、ボランティア育成に取り組んだ。
- 2) 雲南市、奥出雲町、飯南町から委託を受け、地域生活支援事業を実施した。身体、知的、精神、発達、高次脳機能に障がいのある方やひきこりの方を対象に社会生活トレーニング、自主活動支援(余暇活動)、仲間づくりや地域住民への啓発活動、広域的な地域交流事業を実施した。また、聴覚に障がいのある方を対象に手話通訳者派遣、手話・要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成に取り組んだ。
- 3) 雲南市、奥出雲町、飯南町から委託を受け、手話通訳者設置事業を実施した。聴覚障がいのある方を対象に手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業を円滑に進めるとともに日常生活の便宜を図った。

## 2. 開所日及び週末開所

年間を通して週末も開所し、平日は就労、福祉サービス事業所等に通所している方、医療機関に通院している方も当事者活動に参加できるようにした。サロンでのピア活動やテーマを設定した活動の機会を設け、当事者のエンパワメント、リカバリーを支援した。

開所日 297日	開所率 81.4%
----------	-----------

開所日：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 土曜日・日曜日 午前9時30分～午後4時  
休所日：第2・4・5土曜日、第1・5日曜日、祝祭日、8月13日～15日、12月29日～1月4日

## 3. 市町別利用者数

	雲南市	奥出雲町	飯南町	その他市町	計
実利用者数	159人	14人	27人	5人	205人
延利用者数	7,940人	1日当り利用者数	26.7人		

## 4. 地域活動支援センターI型事業・機能強化事業

### (1) 日常生活支援

一人で自由に過ごしたり、仲間同士で語り合ったりできる憩いの場(ピアサロン)を提供した。他者との関わり方や情動、ストレスへの対処、マナーやルール、金銭管理、食生活等で援助が必要な方には職員が関わり相談を行い、日常生活・社会生活が上手にできるよう支援した。また、病状や生活経験不足などで自宅での入浴や洗濯ができていく方に浴室や洗濯機・乾燥機(有料)を提供した。

ピアサロン、ピアカウンセリング	5,941人
入浴サービス	162人
洗濯サービス	2人

(2) 生産活動

「自分のペースでゆっくり働きたい」などという方や障害福祉サービス利用までの準備期間として生産活動の経験を希望する方を対象に軽作業(毎週火・水・木曜日 10 時～12 時実施)の場を提供し、社会参加の促進を支援した。個別に目的を確認し、軽作業への取り組み方や体調等に応じて作業ができるよう、来所時間、作業時間等について、配慮して支援した。

軽作業	148 回	647 人
-----	-------	-------

(3) 自主活動支援

創作活動(クラフトクラブ、ハーモニータイム、パレットシアター、レディースデイ、カラオケの日、どんぶりの日、麻雀・オセロの日など)を利用者のニーズを考慮に入れ、企画、実施した。余暇活動、自主活動への活動意欲につながるようにした。また、体力、健康の増進、気分転換等を目的に取り組みやすい屋内の軽スポーツ活動も実施した。その他、パソコンやゲーム・本・マンガを設置するなど、自主的に過ごすことができるよう環境を整えた。また、年1回ずつ奥出雲町、飯南町での出張支援センターを実施した。その他、今年度から、利用者ミーティングを取り入れた。

創作活動(クラフト、レディース)	11 回	54 人
スポーツ活動(軽スポーツ、卓球)	25 回	129 人
文化活動(ハーモニータイム、カラオケ、シアター、どんぶり、社会研修)	40 回	149 人
自主活動(スポーツ、パソコン、就労学習会)	67 人	
利用者ミーティング	2 回	12 人
出張支援センター	2 回	15 人

(4) 地域交流活動

地域の講師を招き、茶道・書道・絵手紙教室を実施した。講師から直接、作法等を学ぶことができ、集中して自分の作品と向き合うことができたり、講師とのコミュニケーションの場にもなった。食事会とカレーの日には、地域ボランティアを毎回2名ずつ招き、交流の場を提供した。当事者とボランティアが調理を通して関わる中で、楽しい会話をするなど交流を深めることができた。

茶道教室、書道教室、絵手紙教室	12 回	74 人
食事会、カレーの日、もちつき交流会	25 回	131 人
雲南人権擁護委員との交流活動(アートの日)	2 回	10 人

(5) 当事者団体への支援

当事者会サークル雲南の事務局として、相談、助言、援助等を行い、より充実した活動になるように当事者活動の支援を行った。雲南圏域在住の精神障がい等当事者の孤立を解消し、仲間の輪を広げ、絆を深め、社会参加の促進と地域生活の充実が図れるようにした。

団体名	内容	実施回数	参加者数
当事者会サークル雲南	ミーティング、例会等	29 回	212 人
	ボランティア活動	6 回	33 人
	スポーツ活動	21 回	117 人
	たよりの発行	12 回	276 人
	会議への出席	4 回	4 人
	研修会への参加	1 回	7 人
	しまねこころの交流会(県当事者連絡会への協力)	4 回	30 人

(6) 地域交流、啓発活動

当事者、家族、ボランティア、地域住民、関係機関と協働し、障がいへの理解促進・啓発活動と活動を通じた当事者のエンパワメントを図ることを目的に地域交流活動を実施した。また、実習生や視察研修の受入れを行い、福祉サービス事業の内容や障がいについて、理解促進を図った。

内容	実施回数	参加者数
雲南地域当事者交流会	1回	146人
実習生・視察研修受入れ	8回	82人

(7) ボランティア育成・連携（センター主催活動への参加・支援）

地域ボランティアと連携を図り、食事作りや各種行事を通して、当事者との交流の機会を設けた。障がいに対する理解促進・啓発へとつながる取り組みを行った。

内容	実施回数	参加者数
食事会、カレーの日、絵手紙教室	26回	55人
雲南地域当事者交流会	1回	8人
出張ピアサロン、視覚交流会、視覚障がい者外出支援	6回	15人
雲南人権擁護委員との交流活動	2回	4人
雲南地域スポーツ大会	1回	4人
もちつき交流会	1回	5人
家族研修会(こころのフォーラム 2018)	1回	3人
ボランティアとの反省・打合せ	1回	8人

※精神保健福祉ボランティア養成研修（雲南保健所主催）パレットにて講義・研修 7人

5. 地域生活支援事業

(1) 社会生活力トレーニング

主に精神障がいのある方を対象に、パソコンに触れ、慣れ親しむ体験の場を月1回提供した。また、重度身体障がいのため外出が困難な方を対象とした訪問パソコン教室を実施した。

パソコン体験教室	46時間	46人
訪問パソコン教室	83時間	83人

(2) 手話通訳者派遣、手話・要約筆記奉仕員派遣、手話奉仕員養成講習会等

聴覚等に障がいがある方のためにコミュニケーションを円滑に行うための支援を実施し、サポート体制の構築化を図った。さらに今年度は、手話奉仕員養成講習会を休止し、講師育成に取り組み、手話奉仕員養成担当講師2名に連続講座を受講してもらい、講師の指導力アップを図った。

手話通訳者派遣	123件(コーディネートを含む)	
手話奉仕員派遣	13件(コーディネートを含む)	
要約筆記奉仕員派遣	9件(コーディネートを含む)	
手話奉仕員養成担当講師連続講座	講座8回 2名	
手話研修センター主催研修	1回 2名	
県指導者研修会	1回 1名	
手話奉仕員研修会	5回	56人
手話奉仕員交流会	1回	11人
手話体験教室	2回	19人

(3) 出張ピアサロン、視覚障がい者の外出支援

各地域に出向き、当事者の交流活動を開催し、余暇活動や仲間作り・情報交換の場を設けた。

内容	場所	内容	回数	参加者数
出張ピアサロン	雲南市	交通安全教室・お菓子作り教室 粘土細工・軽スポーツ フラワーアレンジメント・茶話会	6回	74人
	奥出雲町	ミニ紙傘作り	1回	10人
	飯南町	料理教室	1回	9人
視覚障がい者外出支援	交流活動(雲南市)	落語	1回	5人
	外出支援(飯南町)	社会研修	1回	7人

(4) 広域的な地域交流・研修事業や啓発活動の実施

広域的な地域交流活動を開催し、当事者、家族、ボランティア、地域住民、関係機関との協働や障がいへの理解促進・啓発活動と活動を通じた当事者のエンパワメントの向上を図った。また、雲南地域スポーツ大会(ソフトバレーボール)、家族交流会を開催し、福祉サービス事業所に通う当事者同士の交流や家族同士での交流の機会を設けた。

内容	実施回数	参加者数
ふれあいまつり・もちつき交流会	2回	150・90人
家族研修会(こころのフォーラム2018)	1回	102人
雲南地域スポーツ大会	1回	194人
家族交流会	1回	6人

6. 手話通訳者設置事業

聴覚に障がいのある方の相談、通訳、コーディネートを行うとともに手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業が円滑に進むよう日常生活の便宜を図った。

手話通訳者設置事業	相談	295件
	通訳	194件
	講演会等 手話通訳者コーディネート	33件
	講演会等 要約筆記者コーディネート	3件
	手話通訳者派遣事業、手話・要約筆記奉仕員派遣事業、手話奉仕員養成事業に従事	

#### IV. 事業活動の運営に当たって

##### 1. 利用者の人権尊重、苦情解決

いかなる時も利用者の人権を尊重して業務に従事し、虐待防止に取り組んだ。

苦情解決担当者会議の開催、第三者委員を交えた委員会の開催、第三者委員による生活介護事業所にじいろの巡視及び利用者と第三者委員との懇談会等を開催して、利用者の権利擁護に努めた。また、法人内において人権、権利擁護に関する所内職員研修会を開催するとともに、所外において開催される福祉サービス苦情解決研修会や人権研修会に参加した。

苦情解決担当者会議	10月 4日(木)
第三者委員を交えた委員会	10月12日(金)
第三者委員による生活介護事業所にじいろの巡視、利用者と第三者委員との懇談会	11月20日(火)

寄せられた苦情・意見に対しては、誠意を持って話を聴き、改善に取り組んだり、或いは理解をいただいた。

寄せられた苦情・意見

事業所名	受付状況
地域活動支援センターパレット	口頭 1件

##### 2. 職員の研修、教育

1. 施設外専門研修を積極的に受講させ、障がい者支援の力量形成に取り組んだ。
2. 法人内に研修委員会を設置し、施設内研修を計画的に実施し、職員の資質向上に取り組んだ。
3. OJTの推進、自己啓発や資格取得に向けた自己学習の支援等を行った。

研修実績表

月	・全職員対象(所内) ・テーマ,業務調整により全職員対象(所外)	・職務経験・職種等による対象(施設外研修)	
	施設内(外)研修	職種・事業担当等による	職務経験・職位による
4	職員会議 (所内) 各事業間の理解と連携 4/2	助成金セミナー、助成制度合同説明会 (2名) 4/6	
	新入職員オリエンテーション (所内) 「障がい者支援に対する基礎的考え方、権利擁護,虐待防止,就業規則」 4/2	島根県相談支援専門員協会研修会 (2名) 4/7 しまね高次脳機能障害精神科デイケア連絡協議会 (2名) 4/12	
	雲南圏域障がい者総合支援協議会研修会 (8名) 4/25		
5	職員研修 (所内) 「接遇研修」(34名) 5/31 (研修委員会主催)	日本年金機構事務説明会 (1名) 5/17 障害支援区分認定調査員研修 (2名) 5/9 雲南圏域障がい者総合支援協議会相談支援部会研修会 (1名) 5/10 島根県相談支援従事者専門コース別研修フア	

		シリテーター養成研修 (2名) 5/23~24	
6	職員会議 (所内) 事業間の理解と連携 地域啓発の推進について 6/28	全国就業支援ネットワーク定例研究・研修会 (1名) 6/1~2	
		社会保険事務説明会 (2名) 6/19	
	こころのフォーラム2018 (所外) (25名) 6/10 (パレット主催)	島根県相談支援専門員協会研修会 (1名) 6/3	
7	職員研修 防災教育 (所内) 「火災発生時の職員の行動とは」 (三刀屋事業所) 7/19 (防災対策部会主催)	日本脳損傷者ケアリングコミュニティ学会(1名) 7/7	福祉職員キャリアパス 対応生涯研修課程中堅 職員コース (1名) 7/11 ~12
		設置通訳者、手話通訳等派遣コーディネーター研修会 (1名) 7/18	
	職員研修 防災教育 (所内) 「火災発生時の職員の行動とは」 (加茂事業所) 7/9 (防災対策部会主催)	安全運転管理者講習会 (1名) 7/13	
		社会福祉法人指導監査説明会 (2名) 7/20	
職員会議 (所内) 地域交流、地域啓発 7/24			
8		成年後見制度フォーラム (1名) 8/25	指導的職員研修 I (2名) 8/29
		視察研修 (フロンティア日原) (5名) 8/30	福祉職員キャリアパス 対応生涯研修課程初任 者コース (2名) 8/9~ 10
		相談支援従事者初任者研修ファシリテーター養成研修 (2名) 8/2~3	
		相談支援従事者現任研修 (2名) 8/22	
		島根県相談支援専門員協会研修会 (2名) 8/30~31	
9	職員研修 (所内) 「基本理念、基本方針、行動指針について」 (32名) 9/28 (研修委員会主催)	労務管理説明会 (2名) 9/5	
		高齢者・障害者雇用関係助成金説明会 (2名) 9/12	
		島根県相談支援従事者スキルアップ研修 (1名) 9/4~5	
		コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修 (1名) 9/12~13	
		中国ブロック家族会精神保健福祉促進研修会 島根大会 (4名) 9/13	
		相談支援専門員中国ブロック研修会 in 山口 (1名) 9/22	
10	職員研修 (所内) 伝達研修「福祉職員キャリアパス対応生	障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修 (1名) 10/9~12	中堅職員スキルアップ 研修 I (2名) 10/11

	涯研修課程初任者コース」(33名) 10/31 (研修委員会主催)	島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会スタッフ研修会(3名)10/5	
		福祉サービス苦情解決研修会(3名)10/15	
		雲南地域障がい者就労支援ネットワーク強化・充実事業視察研修(9名)10/26 (アーチ主催)	
		障がい者の自己理解支援スキルアップ研修(1名)10/27	
		健康保険給付実務講座(1名)10/11,26	
		精神障害者地域生活移行・地域定着研修会(1名)10/13	
		島根県相談支援専門員協会研修会(2名) 10/14	
		ファシリテーター養成研修(2名)10/16	
		サービス管理責任者研修共通講義(2名) 10/23	
		ひきこもり支援研修会(2名)10/23	
		聴覚障がい早期教育研修会(2名)10/25	
		島根県高次脳機能障がい支援研修会(2名) 10/27	
		雲南圏域医療的ケア児の在宅医療生活支援研修会(2名)10/29	
		メンタルヘルス研修(1名)10/17	
11	職員研修 防災教育 (所内) 「地震時の避難行動とは」 (三刀屋事業所)11/29 (防災対策部会主催)	農福連携推進研修会(2名)11/1	事業主セミナー(2名) 11/7
		サービス管理責任者研修地域生活(2名)11/1～2	指導的職員研修Ⅱ(1名)11/8
	新人職員研修 (所内) 「障がい者施策の変遷、障がいに対する理解について」 11/5	IT特別公開講座・電話リレーサービスについて(1名)11/4	障がい福祉サービス経営セミナー(2名)11/26
		リスクマネジメント研修Ⅰ(1名)11/1	中堅職員スキルアップ研修Ⅱ(2名)11/21
		障がい者雇用促進フォーラム(8名)11/16	
		障害者就業・生活支援センター事業ブロック別経験交流会議(1名)11/13	採用活動向上支援セミナー(1名)11/27
		中国・四国ワーカー連絡会(1名)11/14	
		健康保険委員等研修会(1名)11/8	
		社会福祉法人会計実務研修中級(3名)	



		11/14～15	
		源泉所得の年末調整説明会・消費税軽減税率制度等説明会（2名）11/19	
		雲南市基幹相談支援センター研修（3名）11/30	
12	職員研修（所内） 人権権利擁護研修（27名）12/20 （研修委員会主催）	厨房から考える食農福連携会議（4名）12/4 障がい者の自己理解支援スキルアップ研修（1名）12/22 社会福祉士実習指導者講習会（1名）12/15～16 社会福祉法人会計実務研修上級（3名）12/6 社会福祉法人地域公益活動推進セミナー（2名）12/26 子ども思春期研修（1名）12/26 サービス管理責任者研修介護（1名）12/6～7	社会福祉法人監事研修会（2名）12/5
1	職員研修（所内） 伝達研修「リスクマネジメント、メンタルヘルス」（33名）1/16 （研修委員会主催）	ピアサポート研修会（1名）1/21	
	職員研修 防災教育（所内） 「救急救命法について」1/16 （防災対策部会主催）	雲南市権利擁護研修会（1名）1/22	
2	職員研修（所内） 「アンガーマネジメント」（32名）2/28 （研修委員会主催）	雲南圏域高次脳機能障がい者支援研修会（7名）2/6 （そよかぜ館主催）	
	職員研修 防災教育（所内） 「火災発生時の職員の行動とは」（木次事業所）2/18 （防災対策部会主催）	人権研修（4名）2/26 雲南市基幹相談支援センター研修（4名）2/8 島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会スタッフ研修会（1名）2/26 障がい者虐待防止・権利擁護研修（2名）2/13～14 高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議・シンポジウム（1名）2/22 高次脳機能障害地域支援ネットワーク中国ブロック協議会研修会（1名）2/23 島根県相談支援専門員協会臨時集会（1名）2/24	

		小児発達支援体制における発達クリニックの役割検討会議（1名）2/26	
		子どもの権利擁護・児童虐待の防止法・保育所に期待する役割（1名）2/28	
3	新人職員研修（所内） 雲南広域福祉会の事業概要 権利擁護・虐待防止・苦情解決 3/7	島根県就労移行支援事業者等研修会 （3名）3/15 障がい福祉関係事業者等説明会（4名）3/20 雲南市地域部会ワーキンググループ視察研修 （2名）3/19	

### 3. 防災対策

消防計画に基づいて、日常点検を実施し火災予防に努めるとともに、非常時に冷静な行動をとることができるよう避難訓練や消火訓練を実施した。また、交通安全運動にも取り組んだ。

防災対策部会の開催	6月4日(月)、6月15日(金)、7月2日(月)、7月9日(月) 9月6日(木)、11月9日(金)、12月10日(月)
総合訓練の実施	三刀屋事業所：7月19日(木)、11月29日(木) 木次事業所：2月18日(月) 加茂事業所：7月9日(月)
部分訓練の実施(グループホーム水害発生時の避難確認)	10月7日(日)、10月9日(火)、10月11日(木)、 10月12日(金)
交通安全運動の実施	4/9(月)～4/13(金)、9/24(月)～9/28(金) ※しゃぼん玉工房利用者、グループホーム利用者の自転車点検 1回/月

### 4. 関係機関との連携、運営の公開

障がい者総合支援協議会への参加や個別支援会議の開催、就業支援に関するネットワーク会議や高次脳機能障がい者支援に関するネットワークの取り組み等を通じて関係機関や他の障がい福祉サービス事業者等との連携を図った。

「さくら通信」の発行、ホームページの活用によって情報の提供に努めた。

### 5. 地域の人材育成や地域啓発

- ① 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業を受託し、今年度は、手話奉仕員養成講習会を休止し、講師育成に取り組み、手話奉仕員養成担当講師2名に手話奉仕員養成担当講師連続講座(全国手話研修センター主催)を8回(岐阜7回、熊本1回)受講してもらい、講師の指導力アップを図った。また、登録手話奉仕員の現任者研修及び交流会を6回、手話啓発活動として、手話体験教室を奥出雲町、雲南市で開催した。
- ② 雲南市、奥出雲町、飯南町から地域生活支援事業を受託し、家族研修会、家族交流会を開催した。精神障がい者の保健福祉の向上と社会復帰の促進を行うとともに雲南地域の家族の交流を深めた。

- ③ 保健所と連携して、精神科病院長期入院者の地域移行に当事者の立場で援助できるピアサポーターの活動支援に取り組んだ。
- ④ 雲南地域スポーツ交流会やふれあいまつりではボランティアや地域住民、関係団体の協力を得て実施できた。  
ふれあいまつりは、連日の猛暑や台風のため、規模を縮小して開催しましたが、約150名の方に来ていただき、子どもからお年寄りまで楽しんで交流することができた。
- ⑤ 体験実習や研修の受け入れ、視察や見学の受け入れを行い、理解を深め合うことができた。

就労支援事業所しゃぼん玉工房、生活介護事業所にじいろ、地域活動支援センターパレット、相談支援事業所そよかぜ館、雲南障がい者就業・生活支援センターアーチでの受け入れ

・実習・研修者：島根大学医学部、島根県立大学看護学部、島根大学医学部附属病院、福山平成大学、島根県健康福祉部、三刀屋中学校、掛合中学校、奥出雲町家族会  
8団体 21名

・視察・見学者：株式会社給食雲南、大田地域家族会親和会、大仁地区更生保護女性会加茂支部、多伎町身障者協会、長野県健康福祉部障がい者支援課、三刀屋小学校、中央物産株式会社、県内就業生活支援センター

8団体 117名

児童発達支援事業所さくら教室での受け入れ

・視察・見学者：雲南市、飯南町、奥出雲町、赤名保育所、大東小学校、島根大学、出雲養護学校、社会福祉法人つわぶき

8団体 18名

## 6. 福祉団体への支援

福祉団体の自主性を尊重し、効率的な運営ができるよう事務局を担当し、支援した。

### ① 雲南障がい者スポーツ協会

目的：障がい者がスポーツ競技への参加を通して体力の増進を図り、障がい者相互の親睦の輪を広げ、社会参加の意識を高めるとともに、地域の障がい者スポーツへの理解を深め、障がい者福祉の増進に寄与することを目的とする。

- ・雲南障がい者スポーツ協会関係事業（参加者総数 465名）
- ・島根県障がい者スポーツ協会関係事業（参加者総数 25名）

### ② 精神当事者会サークル雲南

目的：雲南地域在住の精神障がい当事者の孤立を解消し、仲間の輪を広げ、活動を通じて様々な体験をし、社会参加の促進と地域生活の充実を図ることを目的とする。

- ・学習活動、交流活動、清掃美化等ボランティア活動、キャンプ、たよりの発行
- ・スポーツクラブ活動（ソフトバレーボールクラブ、グラウンドゴルフクラブ）、大会への参加  
(参加者総数 679名)

